

豪 雨災害は、毎年のように発生し、特に梅雨の終わりがころや台風シーズンに発生しやすく、近年の発生件数は全国的に増加しています。

こういった災害などから命を守るためには、日ごろから防災知識を身につけることや、避難場所、非常用持ち出し品などの備えをしておくことが大切です。

また、災害発生のおそれがある場合には、テレビやインターネットなどで気象情報を収集し、迅速に避難することが求められます。

今一度、家族や友人と防災情報の共有や話し合いをしてみてください。

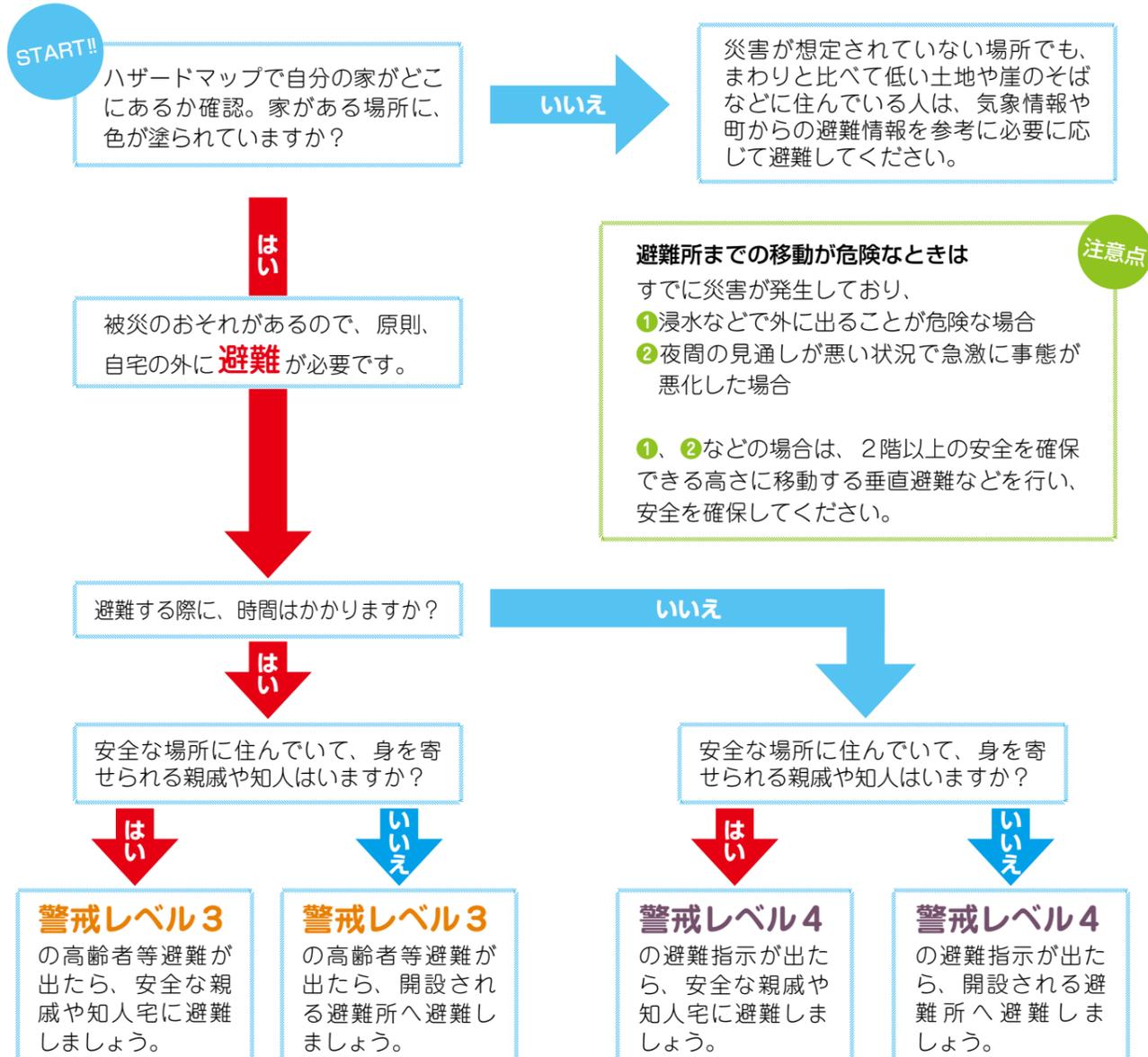
特集 風水害に、そなえる

これからの季節多くなってくる大雨や台風、竜巻などの風水害は、日本のどこでも発生する可能性のある災害ですが、防災気象情報の入手など、早めの対策を行うことで、被害を軽減することができます。

今年も、町に甚大な被害をもたらした紀伊半島大水害から10年を迎える節目の年です。災害の記憶を風化させないためにも、今一度、防災対策について考えてみませんか。

確認してみよう/ あなたの家の**危険度**チェック

災害が発生する前に、自分の住んでいる場所が危険かどうか確認してみましょう。「ハザードマップポータルサイト」で検索するか、次のQRコードからハザードマップを確認し、下記のフローチャートで危険度を事前にチェックしてみましょう。



避難指示で必ず避難 !!

5月20日に避難勧告は廃止されました。高齢者などの避難に時間のかかる方はレベル3、災害が想定される場所にいる方はレベル4が発表されたら、必ず安全な場所に避難してください。

警戒レベル	新たな避難準備情報	取るべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	直ちに安全確保
警戒レベル4	避難指示	危険な場所から全員避難
警戒レベル3	高齢者等避難	避難に時間がかかる人は避難
警戒レベル2	大雨・洪水・高潮注意報	避難行動を確認
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心がまえを高める